

(様式7)

事業所における自己評価結果(公表)

公表年月日:令和2年3月17日

事業所名:(社福)三富福祉会 ハロハロキッズ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	2	・個別の空間を求める方に関して提供が難しいと感じることがある。 ・狭い。 ⇒活動の内容で各部屋を活用している。・個別で過ごせる空間や休息できる場所をパーティション等を使用しスペースを作っている。・利用者の状態によって各部屋を利用している。・内容によって机の置き方を変え活動している。
	2 職員の配置数は適切である	7	2	・スタッフ同士で補いながら行っている。 ・複数人の把握の時は支援しやすい利用者同士を組み合わせを組んでいる。 ・皆でフォローしながら対応している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	4	・借りている建物に対して広さ等不便な場所もあるが工夫したり協力し合いながら使っている。 ・スロープの設置をしている。 ・トイレを広くし、車椅子でも入れるようになっている。 ・移乗等は協力して安全に努めている。 ・新しい建物に引っ越しをし、スロープ等、バリアフリーの配慮がなされていると思う。 ・全てではないが、工夫しながら使っている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		・会議等を通して行っている。 ・毎月、話し合いの場を設けている。 ・定期的に会議をして共有している。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	2	・アンケートによるものではないが連絡帳や送迎、送り出しの際に情報共有を行うようにしている。 ・アンケートではないが、その都度保護者からの要望を上司に伝え、上司からの職員への通達により意向把握に努めている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	2	・公開しているかもしれないが見れていない。 ⇒ホームページのみ公開をしている。今回から広報誌にも公開をしていく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	3	・法人の第三者委員会の方や、保護者、地域の方の意見を聞いていく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		・法人内はもちろん、外部研修にも参加してもらっている。 ・会議で振り返りもしている。今後も研修参加は積極的に行っていく。
適	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		・毎月、ケース会議を設定し、意見交換や分析等している。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		・標準化されたアセスメントツールをもとに、利用者の変化に応じて組み替えての状況を図っていると思う。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	9		・基本的には職員が中心となって立案している。 ・スタッフの意見を伝えることで猶予内でプログラムを作成している。 ・会議や打ち合わせなどの時間で皆に意見を出してもらえるようにしている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		・常に工夫している。 ・必要性のあるプログラムは固定化している。 ・当日利用されている利用者や人数等を加味したプログラムになっている。バラエティーに富んだ内容だと思う。 ⇒自立訓練や外出等、ジルフや楽しみの活動をもう少し入れていきたい。昨年まで行っていた宿泊訓練も今年は場所や時期を考えてやっていきたいと考えている。

切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・課題をきめ細やかに設定されている内容だと思う。 ・長期休暇前は皆で話し合って決めているが、平日、休日の課題等、もう少し詰めていいと思う。 ⇒スタッフ会議、ケース会議で話し合えるようにしていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望を聞きながら進めている。 ・職員の工夫により、利用者の状況にあった支援を提供する努力をしている。 ⇒今後も個別と集団の活動を組み合わせる方向。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日支援前に打ち合わせをしている。 ・緊急の時も職員間で共有できるように伝達方法がある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせの時間をとっている。 ・情報共有ノートを使って皆で周知、共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		<ul style="list-style-type: none"> ・支援後に、支援前に時間をとり、記録の徹底に努めている。 ・日ごとに職員は確認し、課題点や支援方法を会議で話し合っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のケース会議で検討している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9		<ul style="list-style-type: none"> ・組み合わせの見直しをつけて支援する努力をしている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には児童発達支援管理責任者が参加している。 ⇒会議に必要時には精通したふさわしいスタッフも参加させる用意をする。日頃の様子や状態をまとめて参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9		<ul style="list-style-type: none"> ・当日、担当の支援者と学校側との連絡事項の引継ぎはしっかりやるようにしている。 ・各学校に確認できる体制を作っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9		<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児は利用していないが、通院やリハビリ、服薬等の連絡体制は取れている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9		<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の利用はないが、新規に利用が始まった利用者は前に使っていた事業所や保護者、教育機関に話を聞きに行っている。 ・相談支援との連携も図っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、初めての卒業生がいる。相談支援や学校の方と情報共有を行っている。 ・日々のケース記録も残している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9		<ul style="list-style-type: none"> ・年間5回の研修を受けている。相談員の方や専門の方に助言も受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	6	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館や児童クラブの交流はほとんどない。 ・他者との適応が難しい利用者が多いので職員のお子さんに時々聞いてもらい関わってもらっている。 ・地域の学校の利用者が多い。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・上の者が参加して必要に応じて内容を下ろしてくれている。 ・連絡会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		<ul style="list-style-type: none"> ・その日の様子を連絡帳や口頭で保護者に伝えている。 ・保護者や本児から発信があった場合はすぐに職員へ伝え、対応する準備をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレント・トレーニングの支援はまだできていない。現状は相談員や保健師、先生などに相談し、アドバイスをもらっている。 ・心に寄り添う準備は出来ている。 ・スキルアップを目指して研修等行っていきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		<ul style="list-style-type: none"> ・説明する機会があれば積極的に対応している。 ・説明の仕方の指導を受けている。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身のことを考えると力不足であると感じている。 ・言葉を選びながら慎重に話をしている。 ・傾聴に努め、必要とあらば関係機関につなげ適切な人から助言を行ってもらおうようにしている。 	

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会が出来なかった。 ・行事の都合や引っ越しなどと重なり、去年は1回しか出来なかった。 ・今年は移転したため、時期や時間を考慮しながら機会を作っていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情やご意見を頂いた際にはすぐに状況や聞き取りの確認するように心掛けている。その後の対応を含め、保護者は細かく説明や謝罪、情報共有をし、会議等で職員と共有し、支援方法の改善に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		<ul style="list-style-type: none"> ・年間4回、会報誌を発行している。 ・保護者も利用者も楽しみにしてくれているので今後も定期的に発行していく予定。 ・年度も変わり、移転をしたことを機に、新たな会報誌を作っていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	9		<ul style="list-style-type: none"> ・かなり厳重に取り組んでいる。 ・会報誌等にも写真を掲載して良いか確認を行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		<ul style="list-style-type: none"> ・この職務を遂行する上で一番の配慮をして忘れないように意識している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい地域に引っ越したばかりなので積極的に行動は出来ていない。 ・機会があれば取り組んでいきたい。 ・その意向のもと、地域の方々のご理解を頂けるように図っていきたい。
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練を行い、大事に備えた対応への強化に努めている。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待に関しての線引きについても学びあいながら、その発生を阻止する努力をしたい。 ・法人研修に参加している。 ・定期的に事業所内でも行っていきたい。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に説明する必要があるが今のところその状況には至ることがない。 ・必要に応じて取り組んでいきたい。
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9		<ul style="list-style-type: none"> ・おやつやお弁当は各家庭で持ってきてもらっている。 ・調理をする際にはマニュアルの中に確認事項として盛り込み、必ずチェックしている。
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		<ul style="list-style-type: none"> ・小さな事柄でも記入している。 ・皆で定期的に共有している。 ・すぐに書きやすい場所にノートを用意している。 ・未然に防げる事故を予知していきたい。